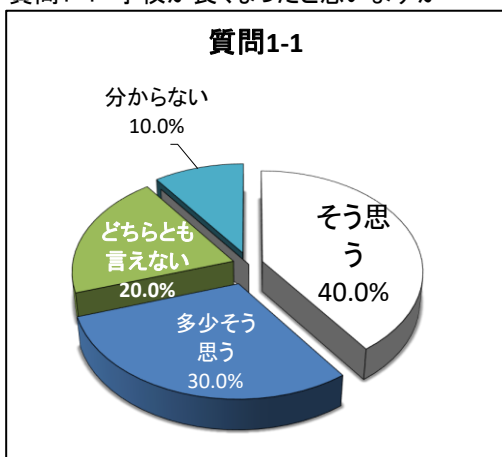


令和2年度 学校評価(学校運営連絡協議会協議委員)

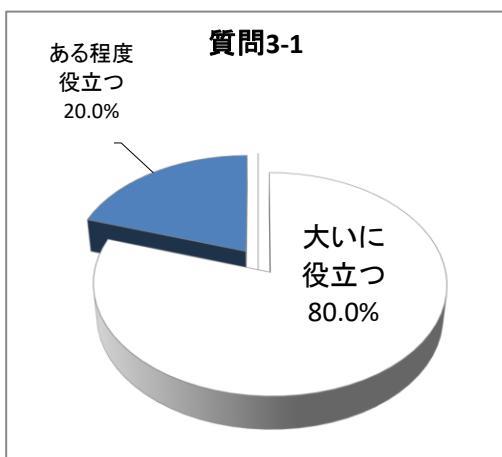
I 教育活動全般について

質問1-1 学校が良くなったと思いますか

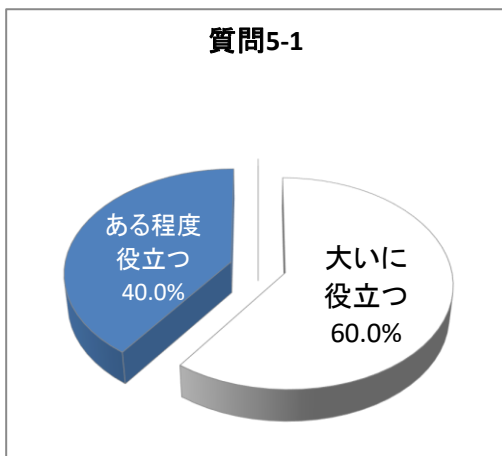


新型コロナウイルスの影響が大きすぎ、高校執行部および先生方の活動の結果を過去と比較すること事態が意味をなさい、学運協で生のお話を対面で聞けないコロナ禍では、判断材料が減り大変難しい。滞ることは多かったと思うが、思い切った合理化もされたと思っている。

質問3-1 補習・講習



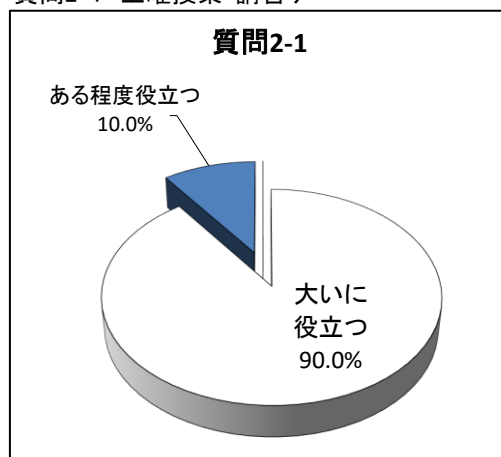
質問5-1 臨時休業期間中の学習支援システムによるオンライン授業や課題配信



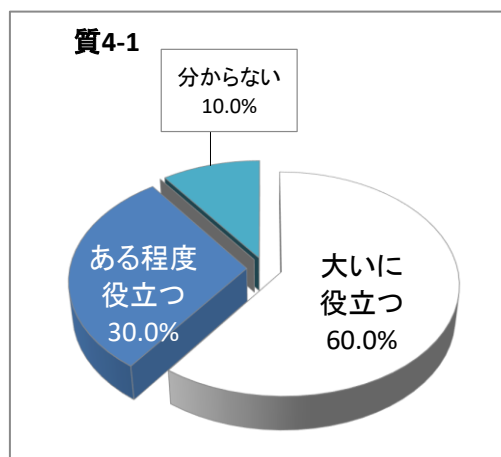
II 授業等について

●有益度

質問2-1 土曜授業・講習デー

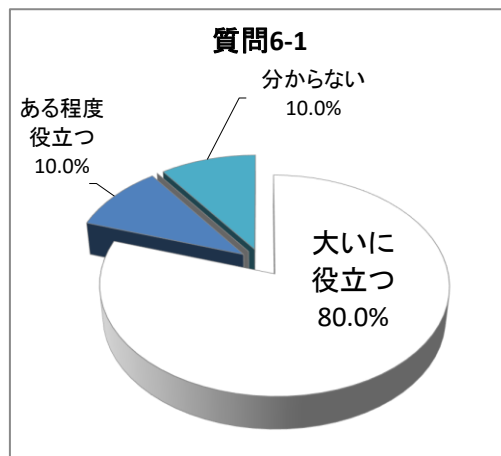


質問4-1 臨時休業期間中のゆうパックによる課題送付



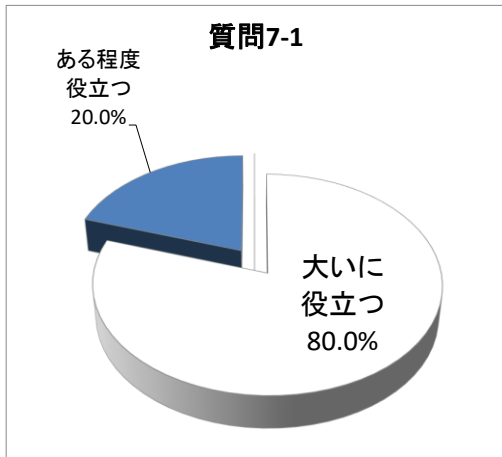
添削されるのか、解答がどのように公開されるのか、またその期間にもよると思う。

質問6-1 第3学期第1週に予定しているオンライン授業ウィーク



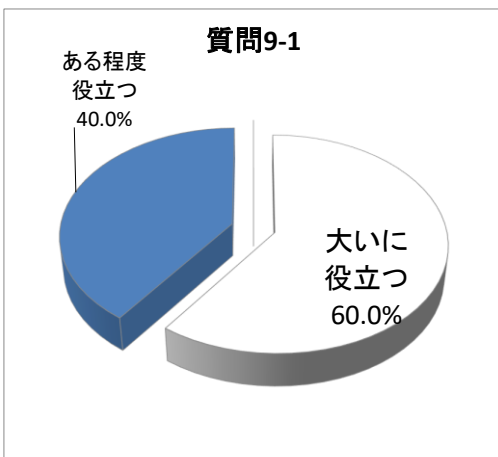
Ⅲ 進路に関する情報提供について

質問7-1 二者面談・三者面談



男子生徒で親に情報を渡さない場合など、助かったと聞く。子供抜きでやりたい親もいた。我が家は子供2人共に進路の迷いがなかったため、各々三年間で1度も面談をしなかった。

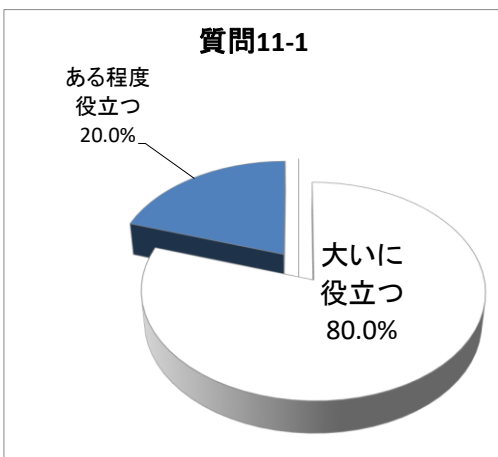
質問9-1 保護者向け進路研修会



専門家の分析はとても役に立った。ただ、目標設定が高過ぎる話ばかりなのは辛いので、中堅校についても聞きたい。繊細な内容なので、質疑応答しづらい面もあり、個別に相談する時間の設定や、質問用にメールアドレスを知らせてもらうなどの対応を希望する。

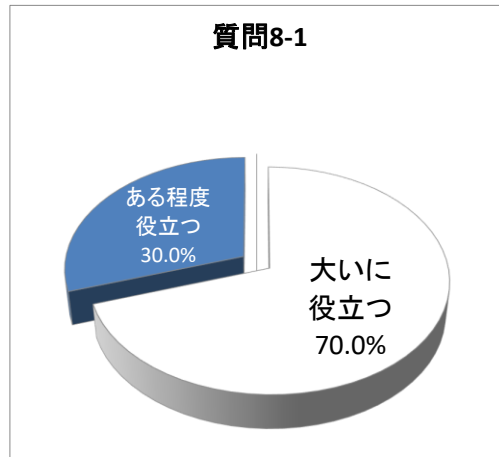
Ⅳ 生活指導について ●有益度

質問11-1 あいさつ指導



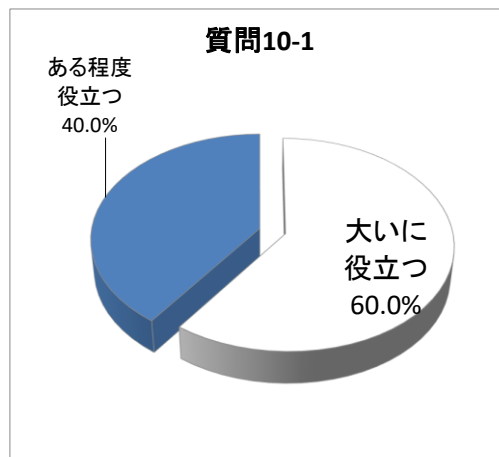
●有益度

質問8-1 保護者会



文・理、男女、と様々な生徒対象なので一般論になりがちだが、青高の傾向が分かって興味深かった。

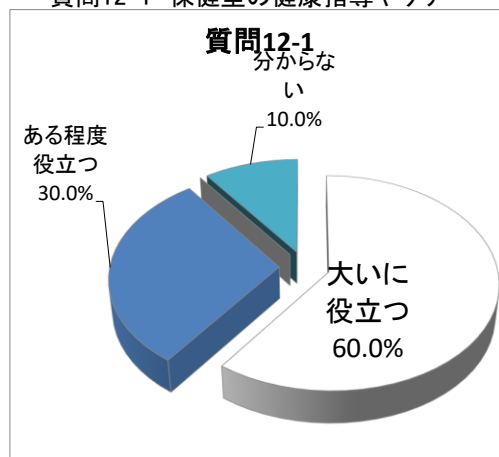
質問10-1 生徒対象の卒業生との懇談や卒業生による講演



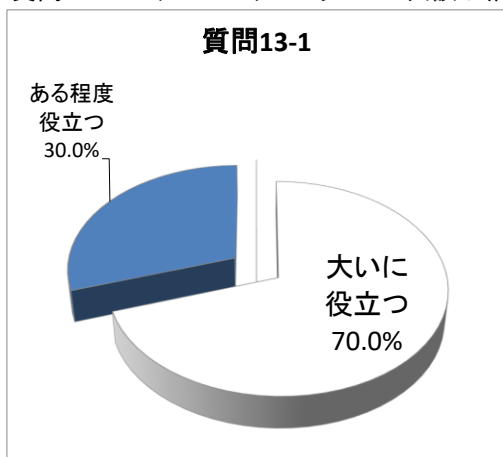
同様の環境で高校生活を過ごした先輩の話はとても参考になると思う。ただ、それも偏差値の高い大学生ばかりだと、他人事のように聞こえるし、中堅校の先輩の場合は本意でなく入学した場合もあるので、卒業生の目標を基準に人選できるとよい。

Ⅴ 心身の健康指導やケア等について ●有益度

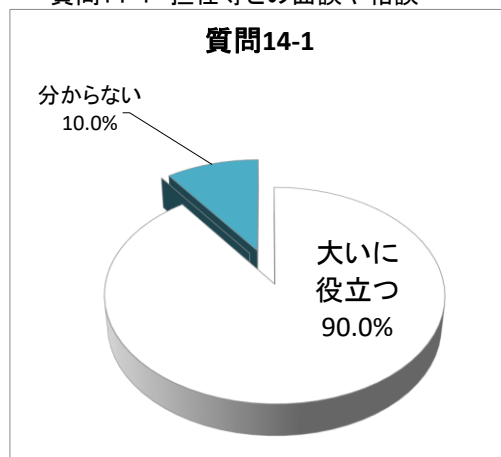
質問12-1 保健室の健康指導やケア



質問13-1 スクールカウンセラーとの面談や相談



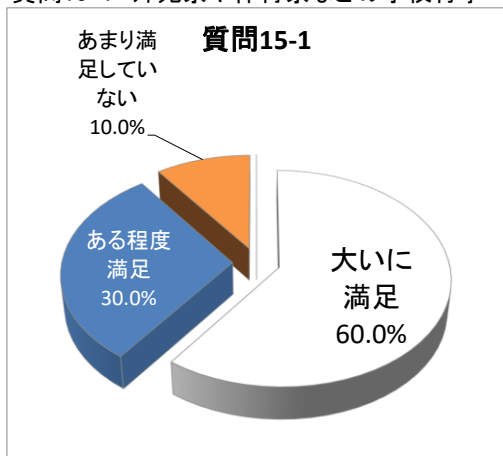
質問14-1 担任等との面談や相談



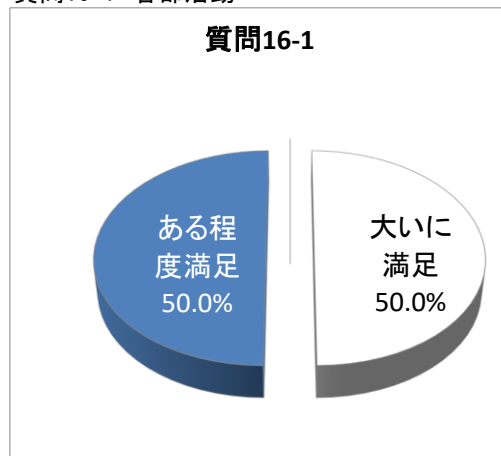
VI 学校行事・部活動、その他について

●満足度

質問15-1 外苑祭や体育祭などの学校行事



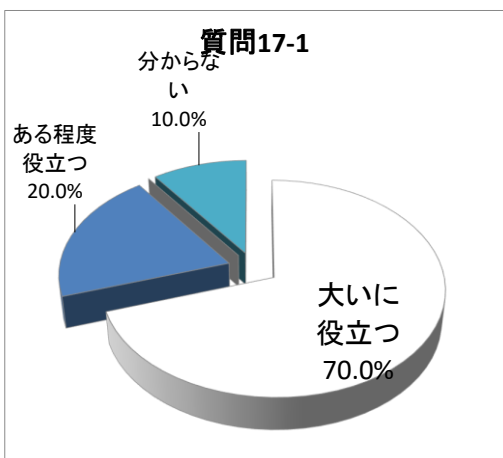
質問16-1 各部活動



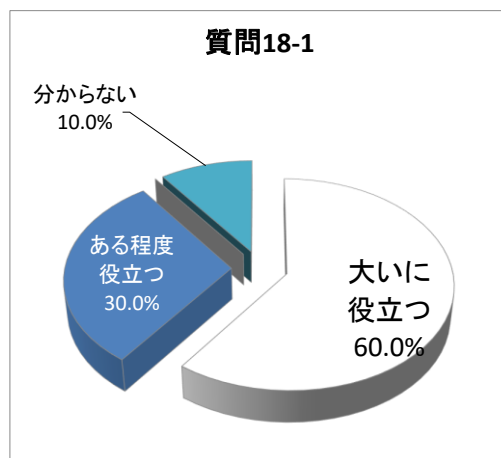
中止となった体育祭については、来年は競技内容を変更するなどコロナ対策しつつ、是非とも開催してもらいたい。

●有益度

質問17-1 外苑会「在校生対象給付型奨学金」制度の施行(2020年度より本格実施)



質問18-1 パン販売



質問19 学校をよりよくしていくために、今後どのようなことが必要ですか

コロナ禍によって学校関係者は日々大変な苦勞をされていることと拝察する。今回のコロナ騒ぎが沈静化しても、新たな異種によるパンデミック発生の可能性が指摘されており、いつそうなっても学校活動がストップしないような「パンデミックレディ」な施策が求められていると思う。常に変化する状況に、試行錯誤を覚悟して臨まれることを祈念する。

何故勉強が必要なのか、何のために大学に行くのか、社会で生きていくための力とは何か、何よりも何をしたいのか、少しでも考えさせる指導が必要かと思う。

青高生は意識が高く気持ちの強い生徒が多いが、1年生ではまだ体力が氣力に追いつかず、外苑祭後に心身バランスを崩すことも多いと思う。この時期をうまく穏やかに乗り越えられる環境が整うと、その後の行事や部活動に積極的に参加できるようになり、ひいては学校全体の活力になるかと思う。

コロナで行事等ができずに大変だと思いますが生徒の為に頑張ってほしい。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大という困難な状況の中で主体的な取り組みを行った教職員各位の努力は、大いに評価できる。特に2020年3月の時点で一斉休校を視野に入れた対策を施し、適時適切に情報を発信したことは、在校生の学習の機会の逸失を防いだという意味でも重要であった。教職員の身体的・精神的健康状態に留意しつつ、在校生がよりよい環境で学習に励めるよう、引き続き学校運営に取り組まれることを期待する。

感染症含め、風邪などにかからないためには自己免疫を上げていくことが大切なので、日ごろの生活の注意点の指導など。コロナ禍での学校生活なので、wi-fiなどのICT関連の環境整備など。在宅学習の場合に生徒の家庭の設備環境により、差が生じることがないよう配慮してほしい。

魅力的な行事、進学重点校であることが魅力の一つである青山高校で、1年生は例年通りの高校生活を味わっていない。例年に近い形で行事を実施できれば、満足度も上がり帰属意識も高まり、ひいては学業へのやる気もさらに上がるのではないかと。

コロナによる休学からスタートしたこの一年。校長をはじめ、教職員には、勉強面では様々な工夫を、また、メンタル面では生徒達への温かい励ましを続けてきてくださり、学校全体がコロナ前と変わらずにいることに感謝している。